

令和5年度 第6回県政参画電子アンケート
「高齢者の介護など」に関するアンケート
結果概要

1 調査概要

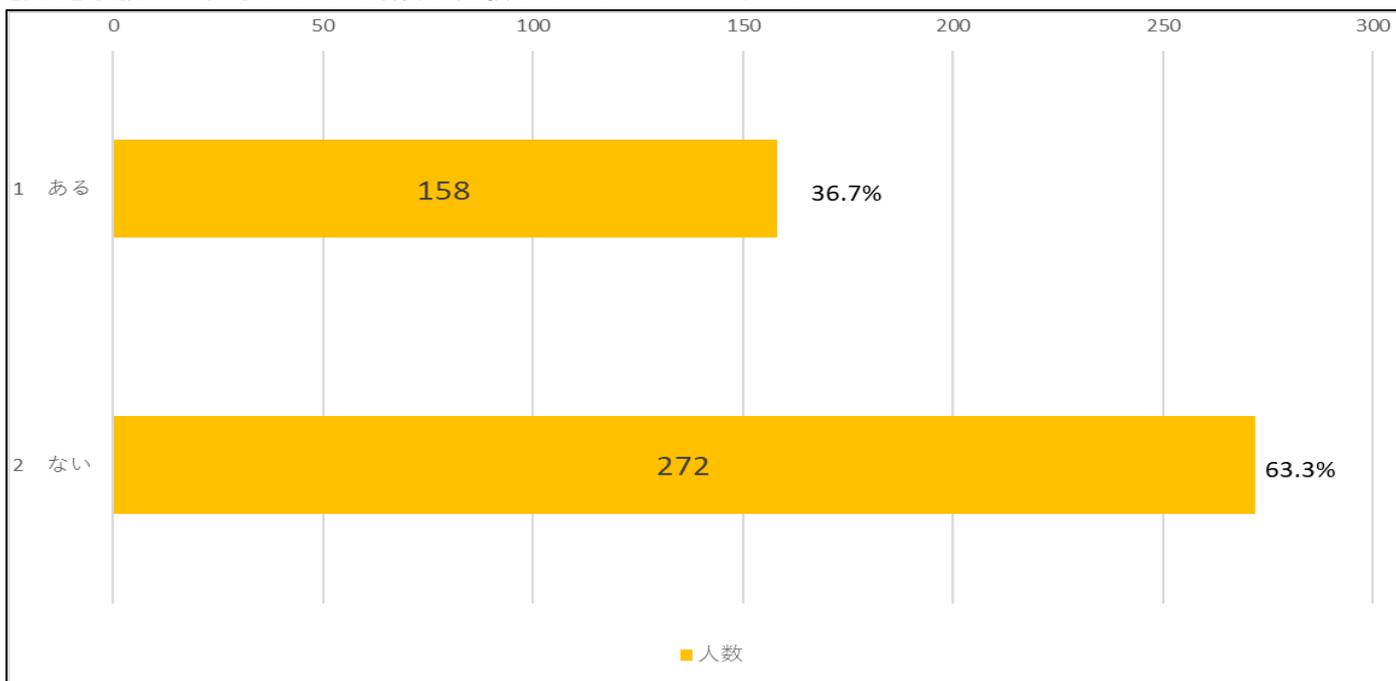
- テーマ 「高齢者の介護など」に関するアンケート
- 実施期間 令和5年7月18日～7月28日
- 対象 県政参画アンケート会員 756名
- 回答数 430名(回答率 56.88%)

2 目的・概要

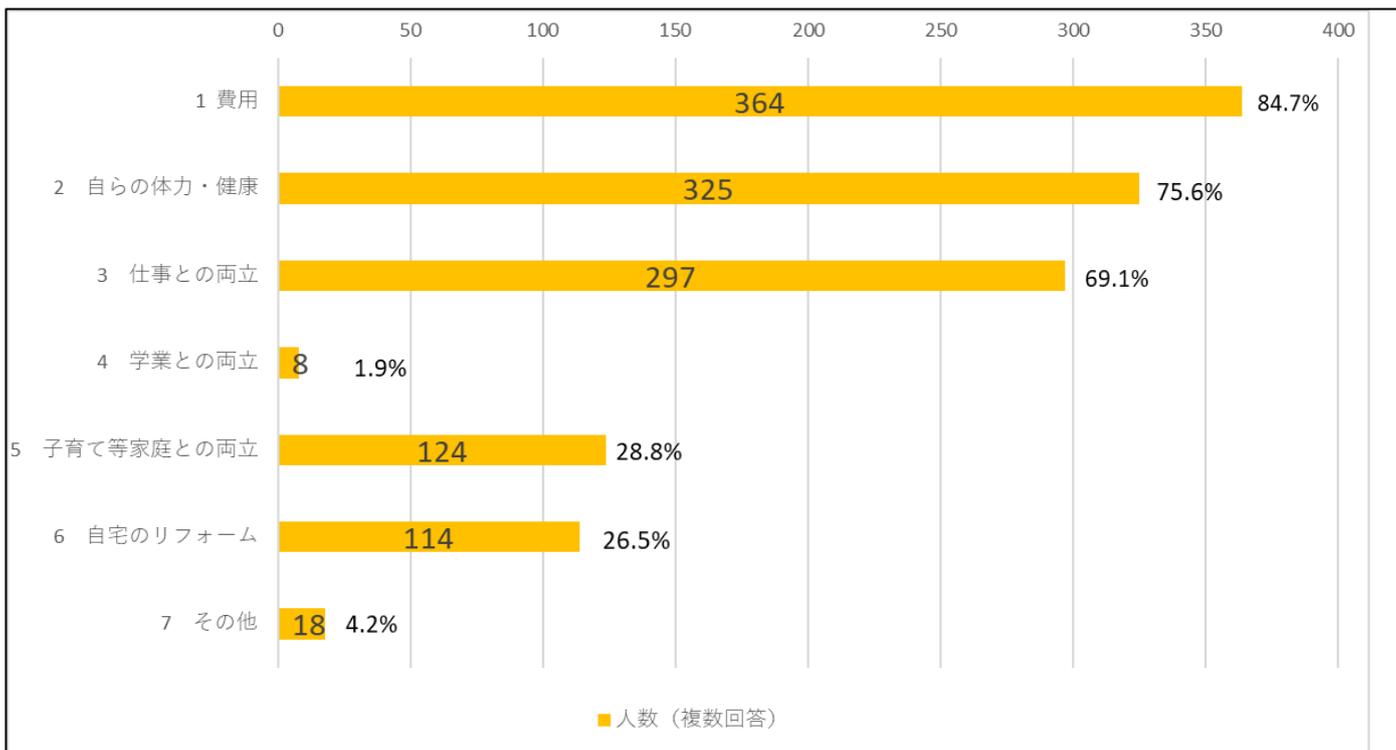
少子高齢化が進む中、要介護者は上昇傾向にあり、2035年には概ね県民の12人にひとり、約40,000人が、何らかの介護・支援を要する状態となると推計されています。このような中、介護に要する費用の上昇、介護の担い手の不足が進行しています。

以上を踏まえ、県民の皆様の意識把握のためのアンケートを行いました。

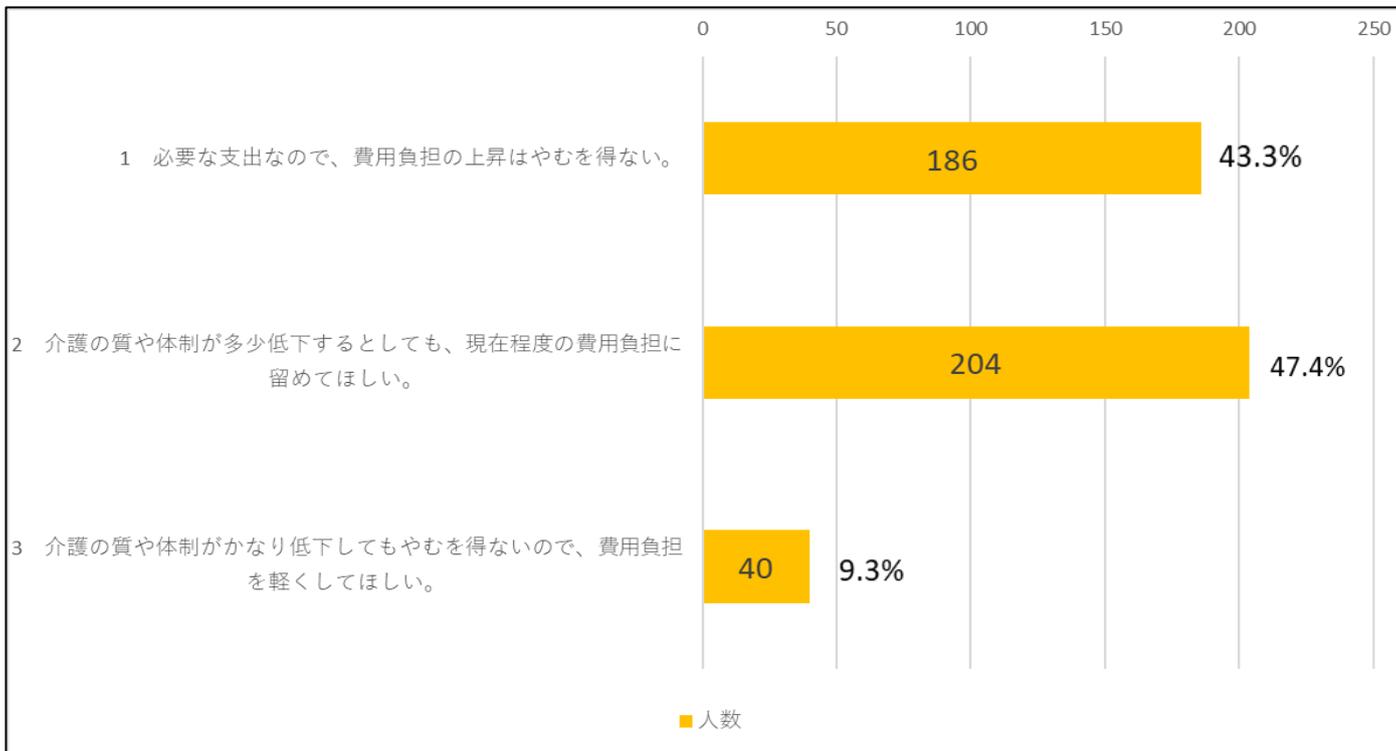
【問1】家族又は仕事として、介護を経験したことがありますか。



【問2】同居する家族を介護すると想定した場合、あなたが不安に思うことは何ですか。当てはまるものをすべて選択してください。

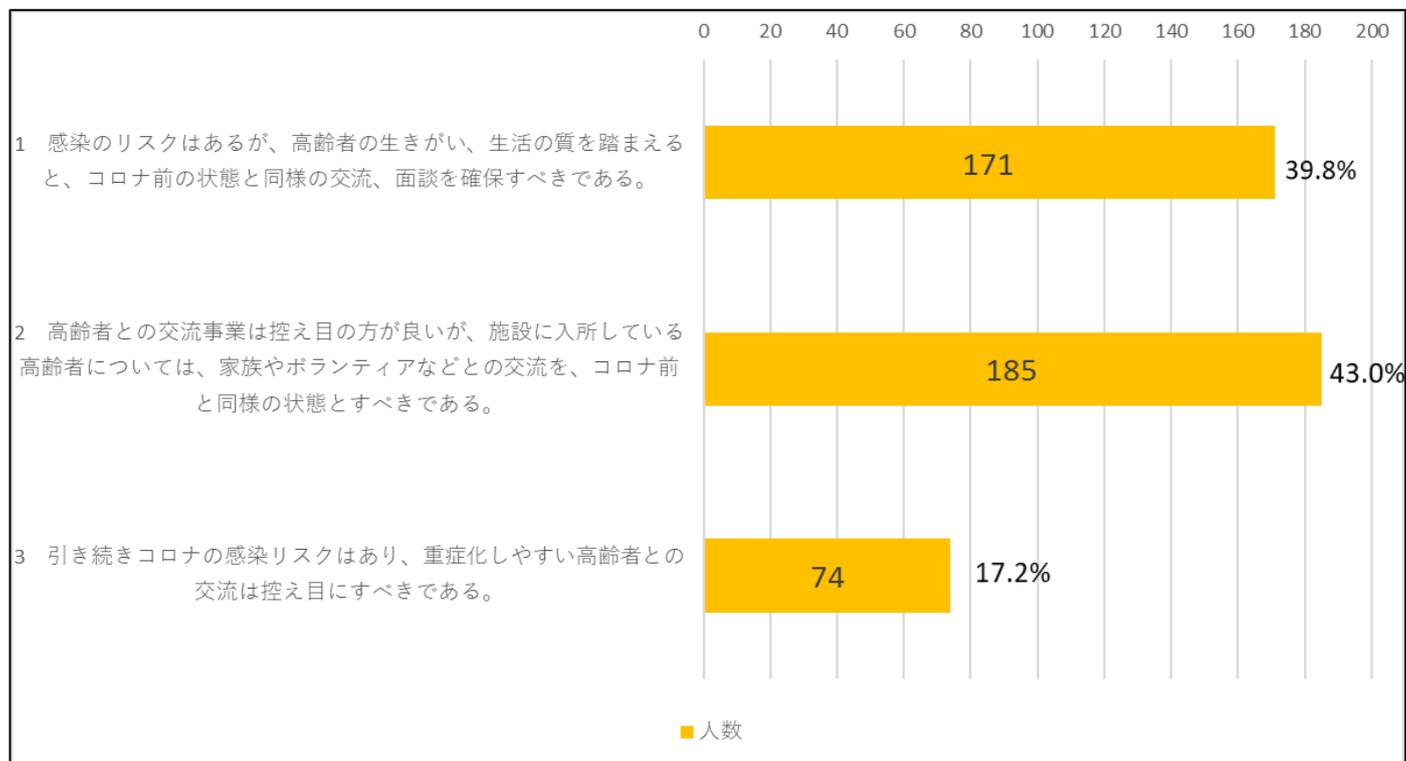


【問3】介護に要する費用は、介護保険料として、40歳以上の方が、それぞれ収入に応じて負担しています。65歳以上の方の介護保険料の基準額は、現在概ね月額6,000円前後です。この額は介護を要する方が増えていくため、今後上昇していく見込みです。この点について、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。

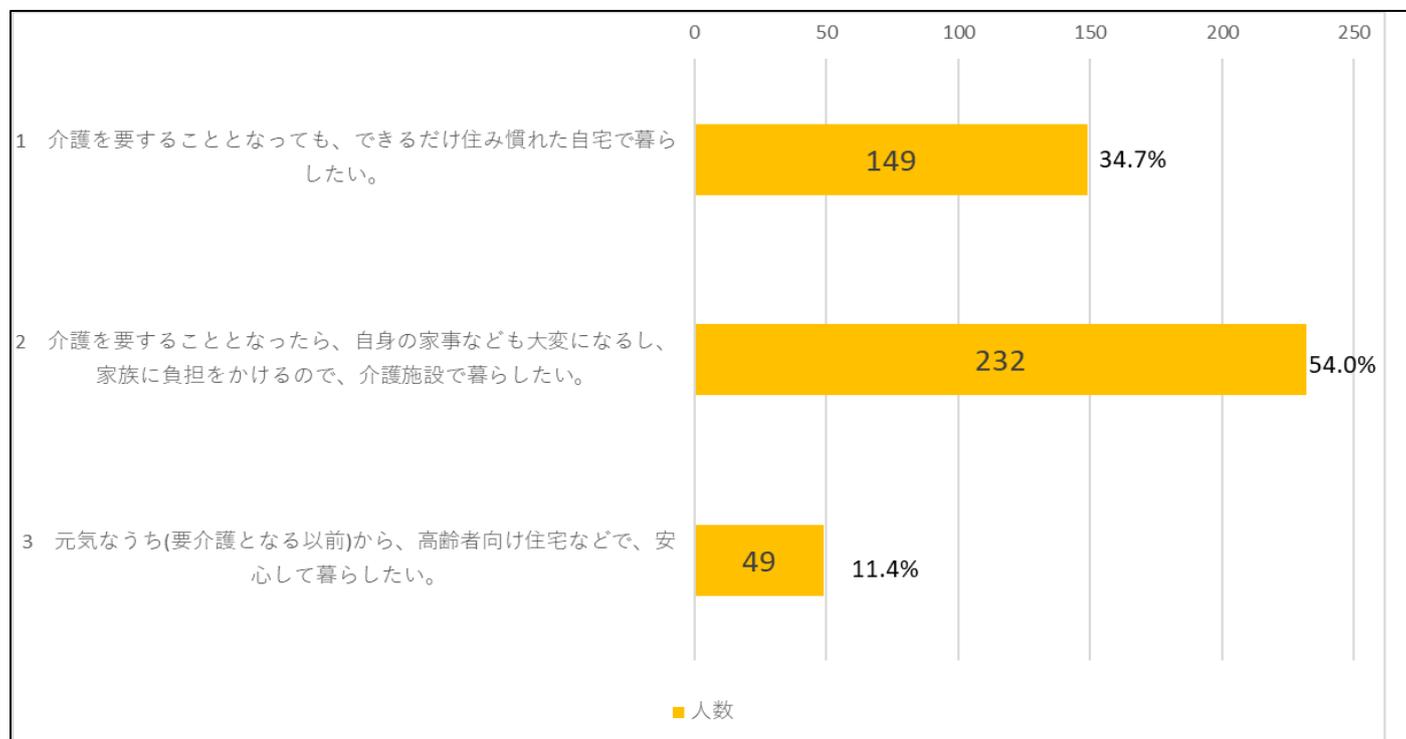


【問4】新型コロナウイルスにより、地域におけるさまざまな住民参加行事が滞りがちとなり、施設入所者と家族の面談にも制限がかかるなど、人々の暮らしが大きく影響を受けました。

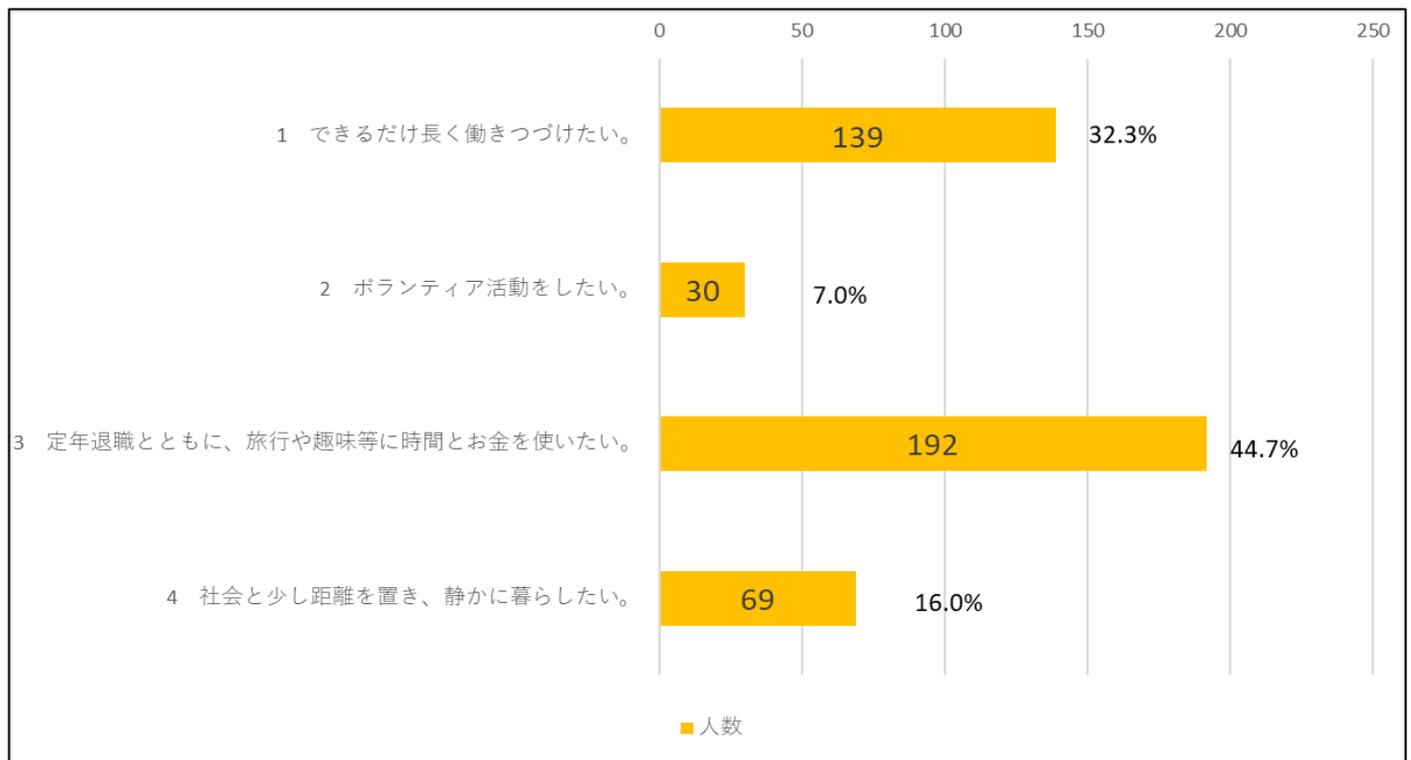
引き続きコロナウイルスへの感染リスクはあり、一部の施設では今も面会制限が行われています。重症化リスクが高いとされる高齢者との交流について、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



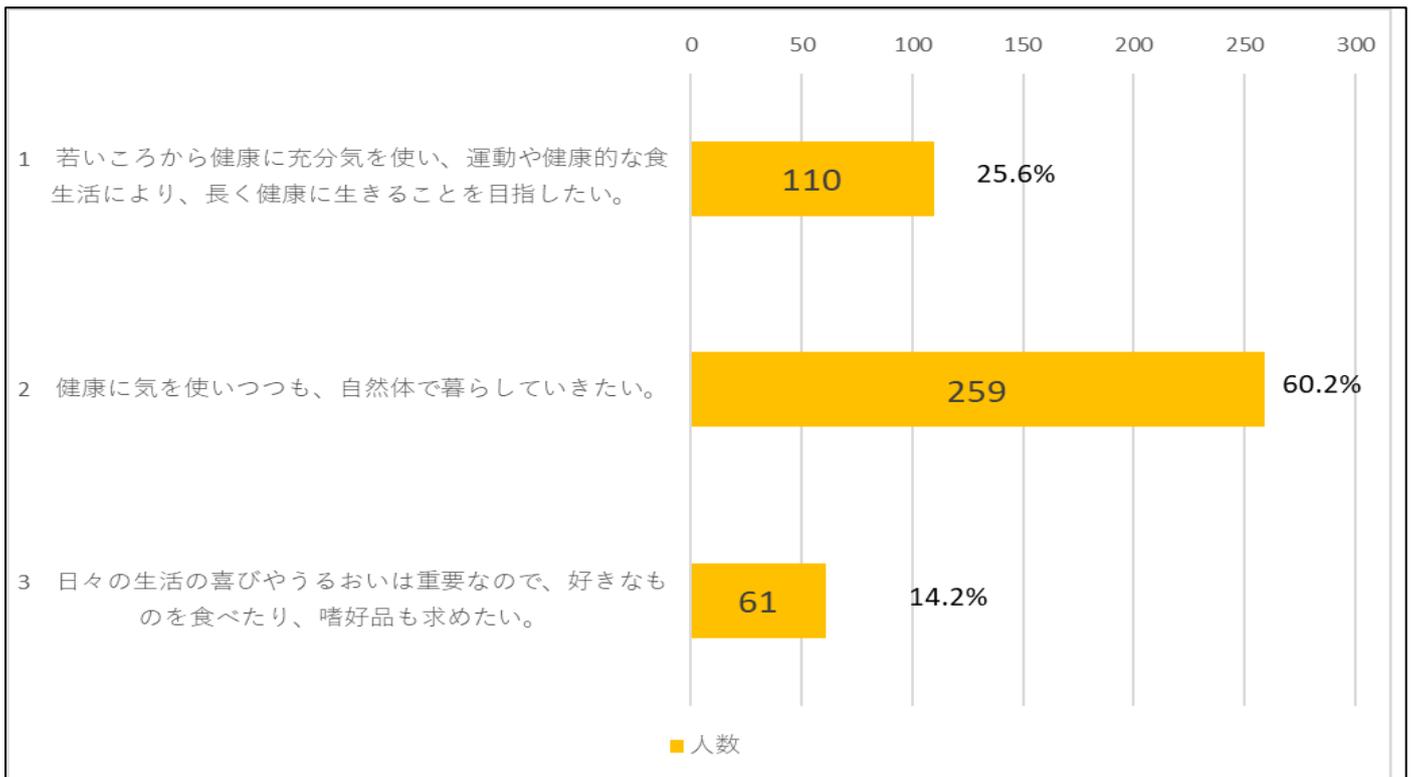
【問5】あなた自身の高齢期の暮らしについて、あなたの希望にもっとも近いものを教えてください。



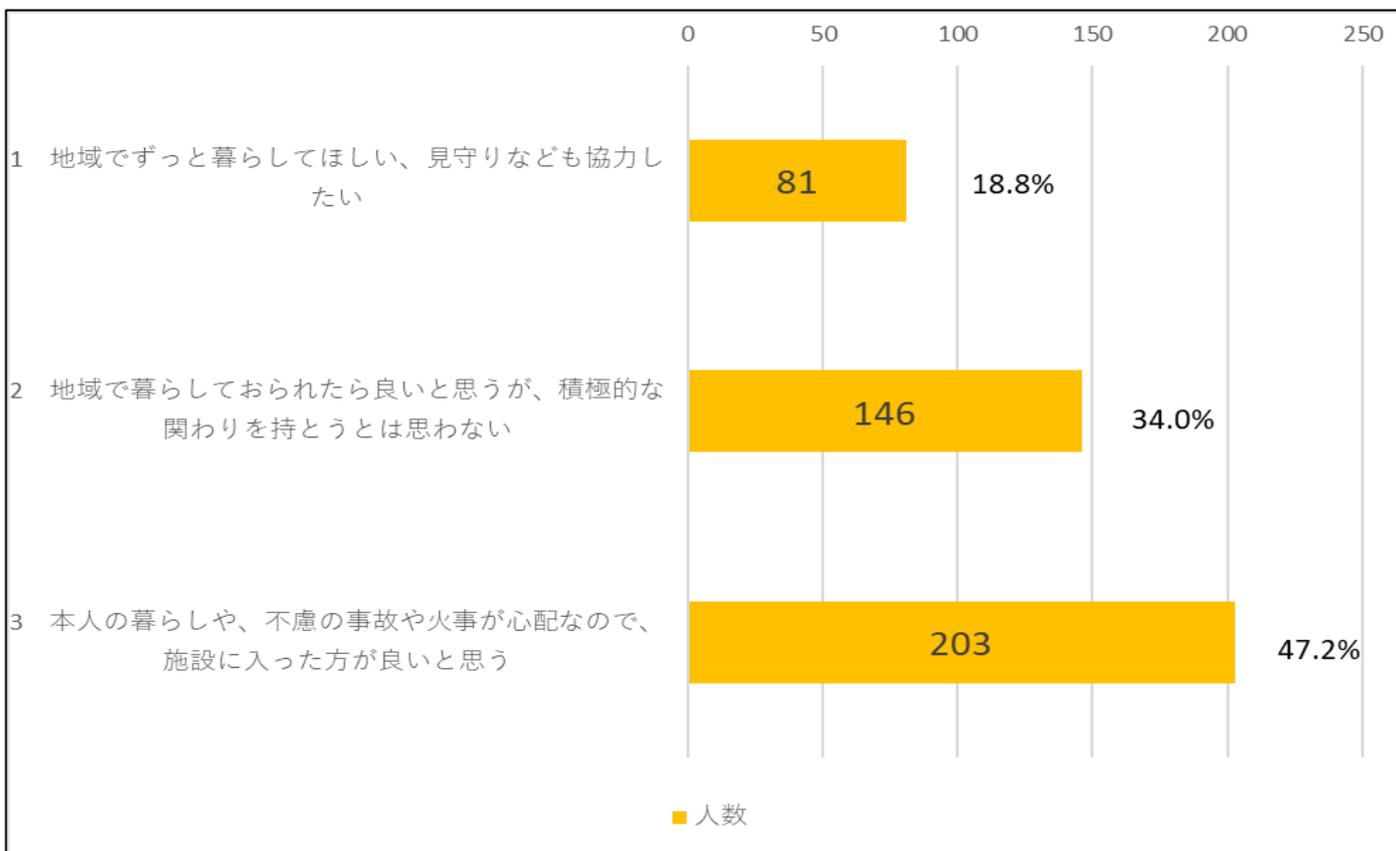
【問6】あなた自身の高齢期の生活について、あなたの希望にもっとも近いものを教えてください。



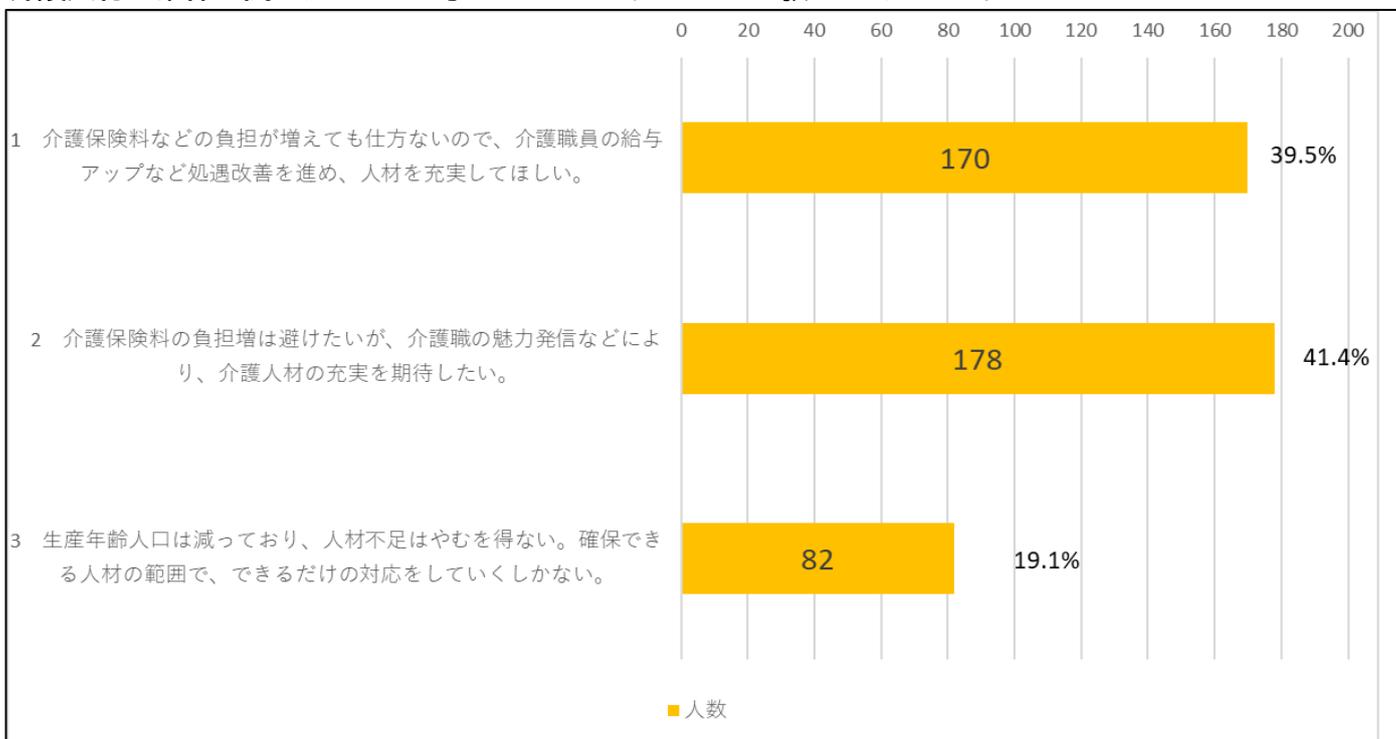
【問7】鳥取県の健康寿命は、都道府県比較(直近の2019年調査)で男性が下から数えて3位(全国45位)、女性が下から7位(全国41位)と、とても低くなっています。高齢期の健康な暮らしについて、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



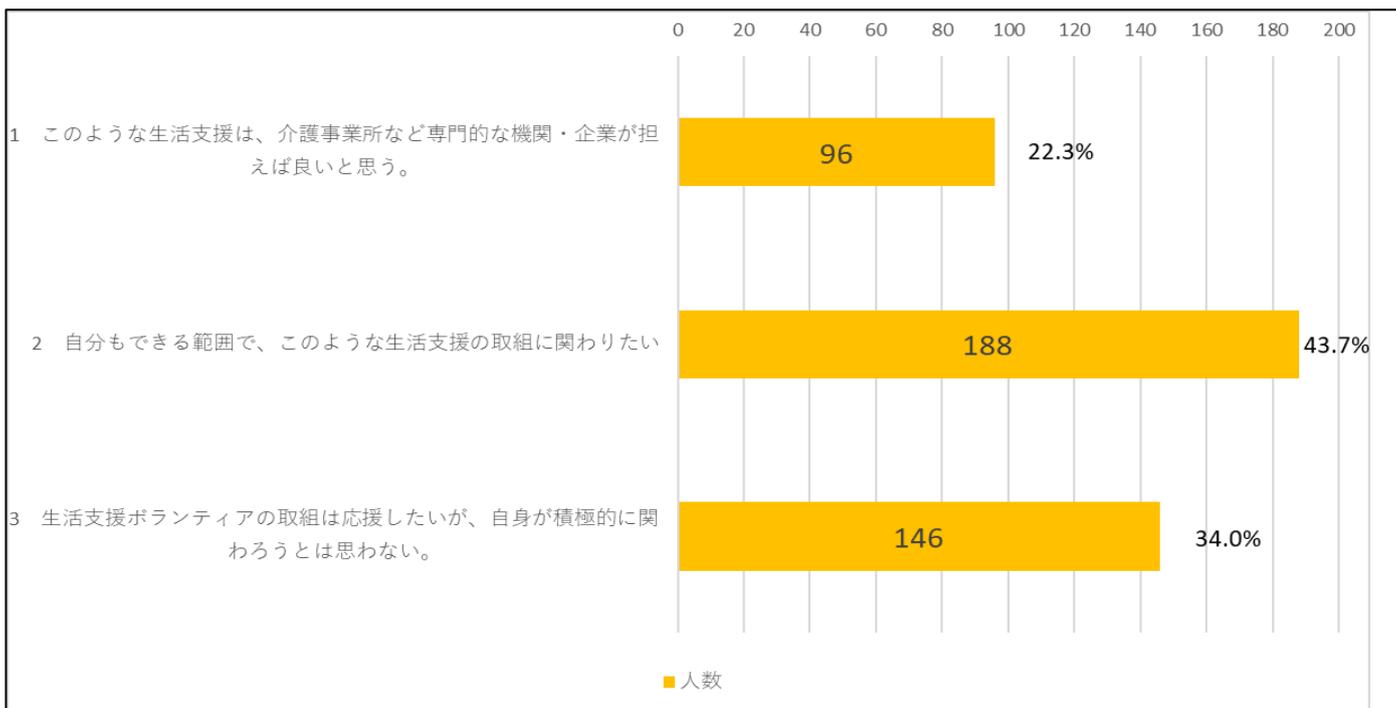
【問8】認知症は、加齢などに伴い誰もがかかり得る病気です。ご近所に認知症の方が暮らしている場合の、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



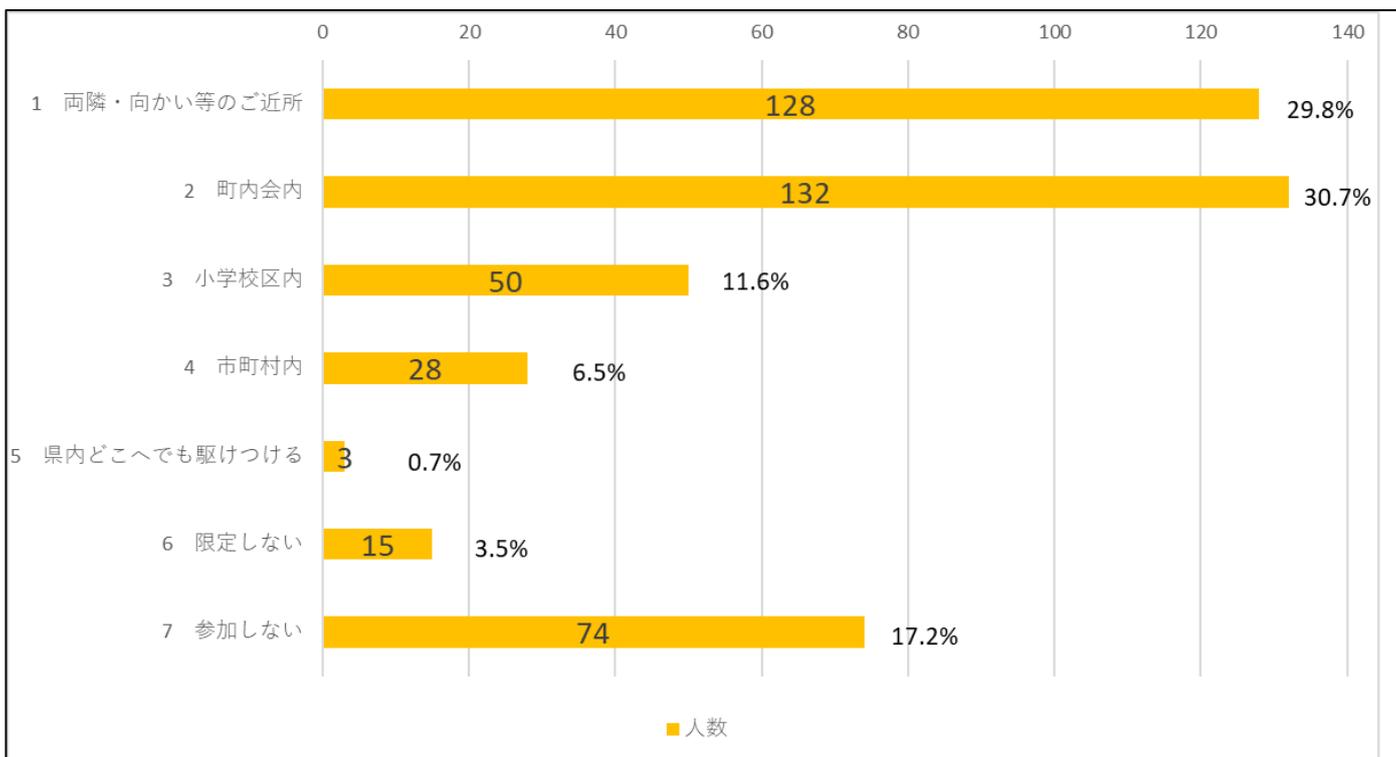
【問9】今後介護を要する方が増加する中、人口減少などにより介護を担う人材の不足が懸念されています。介護人材の確保に関し、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



【問10】高齢者を地域で支えるボランティアによる、高齢者の見守りや、買い物、電球の交換など、ちょっとした生活支援などの取組が期待されています。このような取組に対し、あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



【問11】高齢者を地域で支えるボランティアに参加するとして、どの範囲なら協力ができそうですか。あなたの考えにもっとも近いものを教えてください。



【問12】

※自由記載のため省略